

C<sub>2</sub>O<sub>4</sub><sup>2-</sup> …… (II)

実施例1と同一条件で同一信号を記録した。記録後、キセノンアークランプを用いて露光したところ、記録層の半導体レーザー波長域の吸収は360 W・sec./cmの光照射で消失した。これはメチレンブルーが含まれていないときの1/2の照射量であった。退色後、ディスクの記録面上に50 nmアルミニウムを蒸着し、市販のコンパクトディスクプレーヤーで再生したところ、帯域幅30 KHzで45 dBのC/Nが得られ、音楽信号を再生することができた。

第2図は第3の実施例における光記録媒体の部分断面図を示すものである。

#### 実施例3

実施例1と同一の溝つき基板上に、同じように10 nmのSiO<sub>2</sub>の保護層2を形成後、一般式

るものである。

#### 4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の第1および第2の一実施例における光記録媒体の部分断面図、第2図は本発明の第3の一実施例における部分断面図である。

1 ……透明基板、2 ……SiO<sub>2</sub>層、3 ……記録層、4 ……一重項酸素増感剤層。

代理人の氏名 弁理士 中尾敏男 ほか1名

(I)の有機色素の塩化メチレン溶液を1000 rpmでスピンコートし、厚さ100 nmの記録層3を形成し、さらにその面上にクロロフィル水溶液を2000 rpmでスピンコートして20 nmの増感剤層4を形成した。実施例1と同一条件で同一信号を記録した。記録後、キセノンアークランプを用いて露光したところ、記録層の半導体レーザー波長域の吸収は300 W・sec./cmの光照射で消失した。これはクロロフィル層がない場合の1/2であった。退色後、ディスクの記録面上に50 nmのアルミニウムを蒸着し、市販のコンパクトディスクプレーヤーで再生したところ、帯域幅30 KHzで43 dBのC/Nが得られ、音楽信号を再生することができた。

#### 発明の効果

以上のように本発明の光記録媒体は透明基板上に半導体レーザー波長域に吸収をもつ有機色素と、一重項酸素増感剤を有する記録層を設けることにより、少量多品種のコンパクトディスクやビデオディスクを簡便に、低価格で生産できるようにす

- 1 - 透明基板
- 2 - 保護層
- 3 - 記録層

第1図



第2図

